

第41号

令和7年11月15日発行

ないえ 議会だより

発行 北海道奈井江町議会／編集 広報常任委員会



砂子炭鉱・三笠露天坑 合同視察研修（議会、商工会、建設協会）

奈井江町ホームページ（奈井江町議会）
<https://www.town.naie.hokkaido.jp/gikai/>



主な記事

奈井江町議会 facebook
<https://www.facebook.com/naie.gikai>



奈井江町議会 Instagram
<https://www.instagram.com/naie.gikai/>



ズドーん



- 町政 第3回定例会報告 P2～P3
町政 ここを問う（一般質問） P4～P7
令和6年度決算審査特別委員会報告 P10
町内経済団体との合同視察研修 P11

第3回定例会で審議された議案

第3回定例会は9月5日から9月12日まで開催され、令和6年度決算認定の他、報告案件、補正予算議案、条例一部改正議案、規約変更、人事案件、すべての議案を可決しました。

その結果、令和7年度一般会計予算の歳入歳出総額は、57億6,185万6千円となりました。その他会議案1件・調査案件3件を可決し閉会しました。

傍聴者数5人

【議案審議結果】

報告	令和7年度に公表する健全化判断比率について 将来負担比率71.1% 早期健全化基準350%を大きく下回っている	報告済
	令和7年度に公表する資金不足比率について 病院事業会計 資金不足比率9.4% 経営健全化基準20%を下回っている	
	令和7年度奈井江町教育委員会事務事業の点検及び評価報告書について	
認定	令和6年度奈井江町一般会計歳入歳出決算の認定について	全会一致
	令和6年度奈井江町国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について	
	令和6年度奈井江町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	
	令和6年度奈井江町下水道事業会計歳入歳出決算の認定について	
	令和6年度奈井江町立国民健康保険病院事業会計歳入歳出決算の認定について	
補正予算	令和7年度奈井江町一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出に、7,815万5千円を追加し、補正後の総額は57億6,185万6千円 歳入 林業補助金6,625万円の増・障がい者自立支援847万9千円の増・他 歳出 児童福祉費462万円増・体育館施設費340万7千円の増・他	全会一致
	奈井江町下水道条例の一部を改正する条例 災害その他非常時に、宅内配管等の早期復旧を図るために他の市町村長が指定した業者による排水設備工事を可能にするため、本条例の一部を改正	
条例等	職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例 令和6年度の人事院の報告により「仕事と生活の両立支援の拡充」について、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い関係する条例の一部を改正	全会一致
	奈井江町営バス運行条例の一部を改正する条例 誰もが便利で使いやすい新たな仕組みを構築する「多世代共生型交通システム」の導入に伴い、町営バス「市街地循環線」及び「向ヶ丘線」の路線変更等のため、本条例の一部を改正	全会一致
	奈井江町議会議員及び奈井江町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 公職選挙法施行令の一部改正による選挙公営の単価の改定に伴い、奈井江町議会議員及び奈井江町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する単価を改定するために、本条例を改正	全会一致
規約の変更	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について	全会一致
	北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について	
	北海道市町村総合事務組合規約の変更について 上記3件については、江差町・上ノ国町学校給食組合の脱退に伴い、北海道市町村職員退職手当組合規約表の変更するため	
人事	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 令和7年9月30日をもって任期満了となる三原 新氏の再任に同意	全会一致



決算審査特別委員会 令和6年度 5会計決算額

一般会計決算

歳入 60億1,570万4千円 前年度比 12.8%減
歳出 58億9,030万3千円 前年度比 12.7%減

特別会計決算

会計名	歳 入	歳 出	実質収支額
国民健康保険事業会計	1億8,787万5千円	1億8,722万4千円	651千円
	(13.7%減)	(11.2%減)	
後期高齢者医療特別会計	1億1,120万9千円	1億1,118万8千円	21千円
	(7.9%増)	(8.0%増)	

下水道事業会計決算

区 分	令和6年度	
収 入	収益的収入	4億0,909万7千円
	資本的収入	2,482万3千円
支 出	収益的支出	3億6,779万3千円
	資本的支出	2億3,955万5千円
収 支 差 額	収益的収支	4,130万4千円
	資本的収支	△2億1,473万2千円
	実質収支額	△412万9千円



国民健康保険病院事業会計決算

区 分	令和6年度	
収 入	収益的収入	8億5,984万7千円
	資本的収入	1億2,753万2千円
支 出	収益的支出	8億3,266万9千円
	資本的支出	1億5,293万3千円
収 支 差 額	収益的収支	2,717万8千円
	資本的収支	△2,540万1千円
	実質収支額	2,840万3千円



町政 ここを問う

9月定例会では4人の議員が一般質問を行いました。

地域交流センターの管理運営（道の駅）について

利用者に親しまれる管理運営を



遠藤共子

①事業計画の検証結果について
遠藤

利用状況や収支の状況、計画の実施状況などについて評価と課題整理を行っており、これまでおおむね適正な管理が行われている。各種報告等において業務の改善が必要と判断した場合は、町と指定管理者が協議の上、改善を求めることとなっている。

道の駅における地場産品の取扱いについては、指定管理公募時における施設の管理運営基準（要水準書）に明記されている項目であり、町と指定管理者双方が課題と認識しており、現在より効率的な販売方法等について、指定管理者において検討を行っている。

④国が求める道の駅としての機能に加えて、時代とともに変化し、求められる様々なニーズに対応して、町民や関係団体などと共通の理解と認識、そして協働の下で、利用者の目線に立った地域の活性化につながる施設として運営されることが必要であると考える。将来的な管理運営方法も含めて、道の駅の活性化に向けて研究していく。

町長 活性化に向け研究をしていく

①公募時に提出された管理業務・自主事業の計画について、毎年度指定管理者選定委員会において、

②現在の状況が2階も含め今後も継続されていくのか
③指定管理者制度における利点を活かした運営について
④町が管理運営を行うことについて町長の考え方は

②伝承室については、防災道の駅に選定されたことに伴い、防災に関するパネルやサイネージを設置し、周知・啓発等のスペースとして活用している。昨年まで行っていた地場産品の販売については、商品の管理や選定、販売員の配置等の体制について、現在販売を停止している。また、2階の学習室に

③平成17年度より指定管理者制度を導入しているが、近年開設した道の駅は、施設の大規模化・商業化が進められており、制度当初に開設した本町の道の駅は、施設の規模

や構造など限られた環境のなか、多様化する利用者のニーズに応えるため、運営に努めているが今後、民間団体のノウハウや企画・アイデアを生かした施設運営を期待している。引き続き、町と指定管理者が連携し、道の駅の活性化に向け取り組んで行く。

ここを問う

町の経済状況等について

火力発電所跡地利用

北電の基本スタンス

- ・町に貢献できることを第一
- ・北電事業との親和性
- ・事業の持続性

を踏まえて検討する

↓

4/25 包括連携協定を締結

- ・脱炭素に関する取組み

- ・跡地利用の検討

相互に連携し、進める確認



篠田茂美

誘致企業を含め町内企業

猛暑と不安定な世界情勢の影響、円安、賃金上昇等、複数の要因による原材料費等の上昇が生じている状況下において

① 経営状況は、物価、人件費の高騰等もあり、横ばい

② 担当課が、企業の訪問などで、定期的に業績等の課題、状況を伺っている。

経営団体から、発電所の廃止に伴う地域経済への影響に対する町の対応について、混焼炉発電所の設置、石炭の有効活用等、4項目にわたる要請を受けたところであります。

発電所の廃止によって、

町内の採炭事業者をはじめ、運搬など納炭に関わる関連企業の雇用、経営に与える影響は大きいと十分認識をしている。

これらの要請内容に対して、北海道電力に対して口頭でお伝えした。

や下がり傾向とお聞きするが、共通して言えることは、人材の確保が非常に厳しいことがあります。

国の方創生臨時交付金を活用して、物価高騰対策とし、企業に支援金の給付や、プレミアム商品券の発行等の支援事業を実施している。

等、社会的に責任のある事業展開が必要

が行われるべきであると考える。

北電が主体となつた検討

だけでなく町全体のことを考えての要請でもあります。協議する場を設けるべきでは。

脱炭素の取組みについて

篠田

官民一体となつて地球温暖化対策を進める為に、企業・個人も国の補助金等を活用していく方策の検討は

まちづくりの原則として、情報の共有、町民参加を掲げ、町民と共にまちづくりを進めていますが、今回の北電の廃止は町の経済に大きな影響がある事案であり、経済団体から出された要請書については、北電

北電のことに関して私の考え方をこれまで説明しており、納炭業者の皆さんからの意見も私なりに聞かせていただいている。

今、このことに関する意見も私なりに聞かせていただいている。

そういう意味での懇談会を開催する考えは持っております。

町長

企業等が新たな取組みを始める場合に、国の支援が受けられるようにしておくことは重要で、十分整理をして検討していく。

町長

企業等が新たな取組みを始める場合に、国の支援が受けられるようにしておくことは重要で、十分整理をして検討していく。

鳥獣害対策の現状について



根岸 一志

施布、実施。周辺地域の配布、企業や学校などにも周知を実現。戸別訪問やチラシの配布、広報車による周知を実現。

町長

鳥獣被害対策実施隊発足から一年経過して現状は

根岸

8月末時点での目撃件数は2件。痕跡2件。職員・警察・実施隊で現地確認。周辺地域のパトロールを実施。HPやLINE、連合区長はじめ、企業や学校などにも周知を実現。戸別訪問やチラシの配布、広報車による周知を実現。

鳥獣被害対策実施隊の活動状況について

町長

獣友会は人員不足で参加辞退。有害鳥獣駆除協力会と連携。狩猟者不足は全国課題で国や道が主体的に進めるべき。現体制で対策しつつ、将来の体制は検討。

根岸

獣友会との関係性について

根岸

道全体でも方向性が定まつておらず、実行体制が整っていない。知事も明確な指針を出せていない状況。まずは啓発と広報を徹底。警察とも連携し、情報伝達体制を優先。訓練の実効性にも疑問あり、勉強会や情報共有を進める。

町長

「緊急銃猟」が可能になったが、判断基準や訓練計画は

根岸再質問

東川町のような成功事例はあるが、美唄市は市公式アプリを廃止しLINE強化に移行。

町長

自治体アプリの導入の検討について

根岸

生活情報、観光イベント情報、商業情報、空家空地マップ、防災通知、登下校管理、福祉情報など、町内外の方も活用できる総合的な情報発信アプリを検討は。

公式LINEやSNSのユザー数と利用状況は

根岸

自治体情報発信アプリの導入を



ここを問う

高齢者の肺炎予防について

町長 健康寿命の延伸は非常に大切と考える



笹木利津子

平成25年から27年は死亡数8人から10人で死因順位4位。28年29年は5人で順位は5位。今後の見込みは高齢化が進む事から、一定の死亡は続くと見込まれる。

肺炎球菌5千円、インフルエンザ千六百円、コロナ1万三百円。生保世帯は全額助成。接種状況は肺炎球

町長

①肺炎死亡数、肺炎死順位の推移と今後の見込みは

笹木

②高齢者への肺炎球菌、インフルエンザ、コロナワクチンの公費助成の内容と接種状況は

笹木

そもそもワクチンの働きってなに？ 感染予防や重症化予防で自身の健康、友人知人を守ることが出来ます。重症者や死亡者を減らすことことが出来ます。

町長

④RSウイルスワクチンは開発優先度が高いワクチン。高齢者の肺炎死を予防していく観点から、公費助成を検討しては

笹木

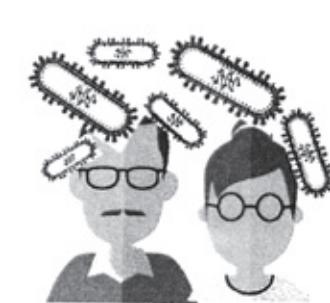
例年、感染症が蔓延する前に予防接種の案内と共に、疾病や予防方法などの注意喚起を行っている。RSウイルス感染症については疾患名についての認識が少ないことから、注意喚起を強化して参りたい。

町長

③感染症疾患の周知、予防への注意喚起は

笹木

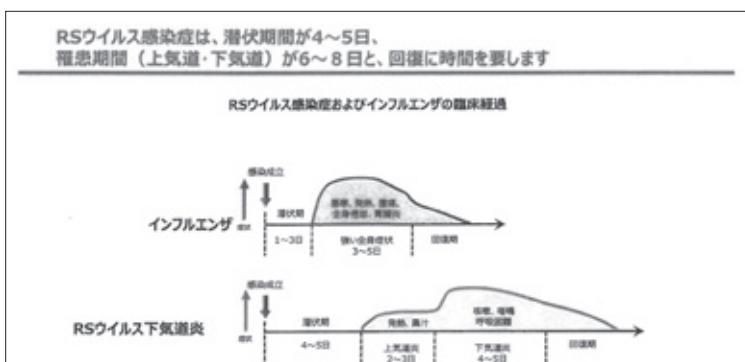
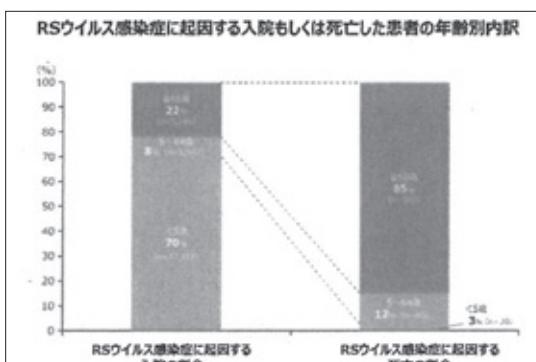
菌25.6%インフルエンザ49%コロナ19%となっています。



RSウイルス感染症？ 風邪症状が続くが検査をしてもインフルでもコロナでもない。基礎疾患がある方は重症化し肺炎のリスクがあります。

疾病の蔓延状況、重症化に関するデータが不足しているなど、RSウイルスの定期接種化を検討するうえで必要な情報収集を行つてゆく。町としても全体の予算を鑑み子育て支援等ベスの所を押さえ、予算措置を考えて参りたい。

町長



令和6年度 決算審査特別委員会

質疑あれこれ 主な Q & A

問 不用額が出た理由は 定住対策	出張とオンライン開催の選別をかなり進めた事が、経費の節減につながり不用額が出た。	答 企画財政課主幹 一般旅費	不用額の出た理由は
新築住宅の建築費の高騰	定住対策については毎年12月に補正を行っていて、令和6年は中古住宅22件が、18件、アパート助成30件の見込みが26件、住宅リフォーム助成32件が25件となつたため。	答 企画財政課主幹 定住対策	定住対策については毎年12月に補正を行っていて、令和6年は中古住宅22件が、18件、アパート助成30件の見込みが26件、住宅リフォーム助成32件が25件となつたため。
答 企画財政課課長 今後の見通しは	予算や抽選方法も含めて、新年度に向けて協議する。	答 企画財政課長 リフォーム助成の方向性は	内空き家が対応し得るかを見極める必要がある。高まると予想。しかし、町があり、中古住宅の需要が
15万円。 380人、財源として約300円で接種された人数 い。民議論を進めて決定した	新型コロナ定期接種	答 企画財政課主幹 新型コロナ助成金	前年にはなかった、ワクチン確保事業に対する助成金の内容は
答 企画財政課長 イベント情報	組織の在り方を検討している段階だが、広報の配布方法については意見が割れている。今後アンケートや町会議論を進めて決定した	答 企画財政課長 イベント情報	以前よりイベントが増えて、広告やチラシが増加しているが何か対策は

こんな事業やりました

- 奈井江版生涯活躍のまちに要する経費
1億5,850万円(1,433万円増)
 - ふるさと応援寄付金事業に要する経費
5,500万円 (1,527万円増)
 - 定住促進対策事業に要する経費
5,802万円 (2,098万円増)
 - 庁舎整備等に要する経費
5億7,414万円 (10億3,227万円減)
 - 国際交流に要する経費
335万円 (185万円増)
 - 障がい者支援に要する経費
2億9,898万円 (3,056万円増)
 - 低所得者支援及び定額減税補足給付金に要する経費
4,585万円 (2,745万円増)
 - 障がい児通所支援に要する経費
4,082万円 (1,131万円増)
 - 学校給食に要する経費
2,997万円 (808万円増)
 - 除排雪に要する経費
1億8,380万円 (4,541万円減)
 - 道営土地改良事業に要する経費
6,156万円 (1,993万円増)
 - 病院事業会計繰出金
3億7,824万円 (58万円増)
- ※ () 内数字は前年度比較

あそViVa



旧保健センター



空知工業団地

答 保健福祉課参事

問 利用者数と経費は

北町児童館が10月で閉館し、11月5日から旧保健センター2階に移ったが、当初初月100名程度だったが、現在月200名の利用がある。経費は、役場分庁舎の位置付けのため消耗品費程度。

答 産業観光課参事

問 取り組みの現状は

企業誘致の必要性は大いに感じており、協議もしているが、非常に難しい問題。道が窓口になっていることが多く、紹介は来るものの誘致には結びついていない。

答 産業観光課係長

問 売買になったGVS J11合同会社の詳細

世界各国で太陽光や風力発電、蓄電池事業を行っている外資系のグループ企業、グリーンボルトグループの子会社の特別目的会社。今の所、令和8年度に太陽光パネルを設置予定。

企業誘致

空知団地

地域おこし協力隊

学校給食運営委員会で協議しているが、人件費、材料費、施設の維持管理費の高騰が主な理由。

答 教育委員会事務局長

問 かなり値上がりしているが

給食費



6年度は1回の検討会議だったが、今年度はすでに4回開催し、教育委員会にも報告済。国も令和8年から3年間で取り組めとの事なので、しっかりと対応する。

答 教育委員会事務局長

問 部活動の地域移行

町立国保病院

現在は削減より維持が必要と考える。現状、満床であったり、地域の受け皿として必要と考えるために、病床削減の予定はない。

答 事務長

問 病床削減することで国の補助制度があるが町の考えは



地域おこし協力隊

決算審査特別委員会審査結果報告

第3回定例会では令和6年度の予算に基づいて執行した事業の結果について決算審査特別委員会を設置し審査を行いその結果を町に報告をいたしました。

(結果報告内容抜粋)

1 定住対策について

住宅取得助成や賃貸住宅の家賃助成等、子育て世代を中心に本町へ転入いただいていることは大変喜ばしいことです。引き続き定住支援のPRを積極的に行っていただくとともに、空き家の利活用についても検討いただきたい。今後も、評価・検証を行うとともに移住された方の声も参考とし、より良いまちづくりに反映されることを期待する。

2 鳥獣対策について

近年ヒグマの目撃情報が本町や隣接する市町で増加傾向にある。人的被害や農作物被害を未然に防止するため、関係機関との協力によるパトロールの実施や注意喚起、町民への情報提供に努めていただきたい。



3 企業誘致について

空地団地をはじめ、町内への新たな産業の創出や進出に向けて、北海道や美唄市等と連携を図り、立地に地に向けたPRや情報の収集等誘致活動に努めていただきたい。

4 公設塾について

「ななかま」では、学習だけではなくあらゆる取り組みにより、子ども達に学習意欲を持たせる工夫をし、いきいきと楽しく学んでいること、そして基礎学習の定着につながっていることは大変喜ばしく感じている。引き続き、子ども達が学習に集中できるように環境の整備に努めていただきたい。

5 下水道事業について

町民の恒久的財産である下水道事業を適正に維持するために、より一層の経営の効率化・健全化に努めていただきたい。

6 町立国保病院について

人口減少・高齢化による患者数の減少などにより、地域医療を取り巻く環境が依然として厳しい経営状況にある。

引き続き地元医歯会、近隣公立病院との連携を推進し、安心な医療の提供に努めていただきたい。



町内経済団体との砂子炭鉱三笠露天坑視察

奈井江・砂川火力発電所の廃炉に伴い、露頭炭採炭事業の撤退が決定された砂子炭鉱三笠露天坑を、町内の経済団体の皆様とともに視察しました。現地では、坑内の現状や、安全管理、ドローンを用いた3Dモデルや石炭層モデルなどのICT技術、今後の計画についても説明を受け、長年地域経済を支えてきた石炭産業の終焉と、その跡地利用の課題を改めて実感しました。また、同坑内で進められている露頭炭層を活用した地下ガス化によるブルー水素製造事業についても説明を受け、脱炭素社会に向けた新たな可能性を感じました。

エネルギー転換の時代を迎える中で、地域がこれまで培ってきた技術や知見をどのように次世代の産業へつなげていくかが問われています。

今回の視察を通じ、奈井江町としても、周辺自治体や経済団体との連携を深め、「地域資源の再活用と新産業創出」という視点から、持続可能な地域づくりを進めていく必要性を強く感じました。



町長への要請

令和7年10月17日

町内経済団体との懇談会において
出された意見・要望等を踏まえ、全
員協議会にて議論を重ね、
・北海道電力株式会社に対し、今後
とも地域振興となる事業の検討の
要請を続けていただく
・事業化の際は地元企業が参入出来
るよう努めていただく
・可能な限りでの速やかな情報提供
を求める等、
議会として意思決定した「要請
書」を町長に提出しました。



まちづくり 常任委員会 所管事務 調査報告

遊器具の点検及び点検時期について

町内にある全76カ所を点検している。来年度以降は出来るだけ早期の対応をする。

なかよし公園を
守る会(本町5区)は
奈井江町環境美化
ボランティア推進事業
に取り組んで10年目。
※行政と民間の協働

公園の維持管理について (現地調査を含む)

【委員会からの意見要望】

利用者が安心・安全に利用できるよう、多くの住民の参加を募りながら計画的な管理・修繕に努めていただきたい。



問	答	問	答	問
犯面を考慮して設置しない。	定期的に周辺を確認している。今後見回り回数を増やして対応していく。	白樺公園のトイレ設置について	近隣に利用可能なトイレがあることや、費用や防	サンボパークのゴミの不法投棄について
ついて	ついて	ついて	ついて	法投棄について
公園の美化や維持管理に	ついて	ついて	ついて	定期的に周辺を確認している。今後見回り回数を増やして対応していく。
ついて	ついて	ついて	ついて	サンボパークのゴミの不法投棄について

問	地域公共交通バスの購入と運行、バスのデザインについて
答	新車を2台購入し8月に納車。住民のニーズに合わせた路線に変更し10月から開始する。車両には（すじーん）をモチーフにしたデザインを考えている。
問	学校給食の米飯事業について
答	民間事業者の廃業に伴い共奏ネットが事業を引き継いだ。しごとコンビニも活用しながら事業を進めている。
問	今後のまちじゅう音楽のコンサートの方針と収益性について
答	入場料金が上がつても著名人を呼び集客率を高めたい。収益は工夫して上げる努力をする。
問	今後の事業の取捨選択と、事業の実施主体について

生涯活躍のまちの取り組みについて
共奏ネットと連携のもと
町が抱える諸課題に取り組んでいく。

【委員会からの意見要望】
地域再生計画に掲げた事業を着実に推進し、目標とする将来展望の実現に期待する。また、交付金が終了しても継続可能な事業展開を望みます。



現時点では共奏ネットで既存事業を継続していく
たい。

事業の透明性を高めるためには、共奏ネットの監査の必要性について

透明性を高める事は大切。今後は監査を含め方
法を検討して行く。

町税の賦課徴収状況と財政状況について

町税は前年と比べ、個人町民税は5800万円の増加、財政調整基金は8541万増の7億224万円

個人町民税の増額について

人事院勧告による公務員の昇給や農業者の所得増、定額減税の影響により増額した。

コンビニやスマホでの支払いの手数料について

税抜きで61円です。

基金に対する考え方について

必要な投資事業や町民への福利厚生を適切に行いながら精査をしていきたい。

過疎債の活用について

ハード事業については充実について昨年度は69.2%でした。

【委員会からの意見要望】

賦課状況については、公平性を保ち徴収率の向上に努めて頂きたい。

財政状況については、健全化の兆しが見える一方公債費の増加や病院経営健全化の課題もある。引き続き健全財政の堅持に努めて頂きたい。



ようこそ奈井江町へ

定住・移住政策の成果により奈井江町へ移住する方が増えています。

今回は、千田さんです。

奈井江町との縁は、以前の職場の上司から声をかけていただきしたことがあげられます。ちょうど新たな挑戦を考えていた時期に、奈井江町の「ズドーーーん」というキヤツチフレーズに町のまつすぐな想いが伝わり、強く惹かれました。ふるさと納税を通して、奈井江町の美味しいお米や特産品を全国へ届けたいという思いから、移住を決意いたしました。

食べるごとに足を運びました。もし町内外でおすすめのスポーツがあれば教えていただけます。奈井江町や近隣の温泉が大好きで、奈井江町・温泉にはほとんどどこ飲食店でほとんどお出でよろしくお願いいたします。



はじめまして。

2025年4月より「ないえ共奏ネットワーク」で勤務している千田と申します。

現在は、ふるさと納税業務とゲストハウス「泊まるる音楽室」を担当しております。

出身は札幌で学生時代を過ごしました。就職後は地域おこし協力隊として観光協会に勤務し、イベント運営や園地での花と鉄道模型

を組み合わせた外での展示、レンタサイクル事業などに携わっておりました。その後、層雲峡や北湯沢のホテルで予約業務を担当し、

観光や宿泊に関する経験を積んでまいりました。云々



フインランド・
ハウスマルビ町

訪問団歓迎

セレモニー

ハウスマルビ町から訪
問団が来庁されました。
10月6日には議会と訪
問団の方々と意見交換会
が行われました。



意見交換会の様子



議会歓迎セレモニーの様子



第4回定例会（予定）

- 日程 12月10日（水）
～12月12日（金）
- 場所 役場2階 議場
- どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。
- お問い合わせは議会事務局まで
- 65-2166
- gikai@town.naie.lg.jp

10月17日、議会懇談会を開催し31名の参加がありました。
詳細については次号で報告いたします。



第9回議会懇談会

10月17日、議会懇談会を開催し31名の参加がありました。
詳細については次号で報告いたします。

- 9月1日 議会運営委員会報告
- ・第3回定例会の議会運営について

広報常任委員会報告

- 議会だより40号（8月15日発行）
- 編集のため4回の委員会を開催

全員協議会報告

- 7月23日 経済団体との議会懇談会について
- 8月29日 第3回定例会の議案説明について
- 9月5日 第3回定例会の議会運営について
- 9月12日 決算審査特別委員会について
- ・議会懇談会について
- ・一部事務組合の議会報告について

委員会報告

いよいよ朝夕がぐつと
冷え込むようになり、冬
の訪れをだんだん感じる
ようにならざりました。

「もう一枚上着を持つて
くればよかつた」と外出
先で後悔する日々が増え
てきました。

皆様方におかれまして
もどうか体調を崩されま
せんよう暖かくしてお過
ごしください。

議会だよりが、日々の
暮らしの中で少しでも身
近に感じていただけるよ
うになれば幸いです。
町民皆様のご意見・ご
感想をお寄せください。

(星)

編集発行
奈井江町議会
広報常任委員会



編集後記